

統計研修講義計画書

研修課程	統計基本課程 統計利用の基本	講義科目	行政評価と統計	講義時間	3コマ
講師	小野 達也 鳥取大学地域学部教授				

※1コマ70分

講義のねらい

行政評価・政策評価を客観的なものとするためには、統計データの活用が不可欠である。本講義では、まず評価における統計データの役割について理論と実務の両面から述べ、①評価における数値指標の取り扱い、②評価における標本調査(アンケート)の活用、③エビデンスとしての統計データなどの事項について、事例を用いながら解説する。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 行政評価・政策評価の理論と実務	行政評価・政策評価とは、評価の理論的系譜、内外の公共部門改革と評価の実務、評価における統計データの役割
2. 評価指標の基礎と応用	評価指標のつくり方、指標を比べるということ、目標設定と達成度評価(ベンチマーキング)、指標の地域間比較
3. 各種アンケート(標本調査)の活用	標本調査法の基礎、誤差と偏り など
4. エビデンスとしての統計データ	E B P Mにおけるエビデンスとは何か、エビデンスの階層、統計のウソ など

講義形態 指導方法	講義(適宜演習を織り交ぜる予定)
受講に必要な 基礎知識等	特になし